

特集

学校部活動と連携しているクラブ

種目の選択肢が広がり

子どもたちが活躍する場も増えた

～NPO法人しおやユリピースポーツクラブ(栃木県塩谷郡塩谷町)～

県内で一番人口の少ない町である塩谷町に位置する「しおやユリピースポーツクラブ」では、クラブと学校部活動が連携することで子どもたちに部活動を含むスポーツ活動を楽しんでもらうための工夫をしています。地域が抱える問題を助け合いながら解決する、その取り組みをご紹介します。

♂ キーポイント

- ★ 学校へ総合型クラブの活動を提案し連携がスタート

1 クラブ概要

総合型地域スポーツクラブ(以下、クラブ)を、平成22年までに全国各市町村に1つ以上設立することが、文部科学省のスポーツ振興計画において重点施策として示されました。それを受け、平成12年頃から、当時の体育指導委員会(以下、現名称のスポーツ推進委員会)が開催していた関東体育指導委員研究大会や全国体育指導委員研究大会において、クラブについての勉強会が盛んに行われるようになりました。その勉強会をとおして、福島県内にすでに活動しているクラブがあることを聞き、栃木県塩谷町のスポーツ推進委員会で視察をしたことが、クラブ設立へ向けた具体的なきっかけとなっています。

その後、クラブの必要性についての協議を重ね、教育長の快諾も得た上で平成16年4月に自治会役員、体育協会、スポーツ推進委員、学校関係者などが集まった56名のメンバーによる調査(検討)委員会を発足しています。平成17年3月に、調査委員会から設立準備委員会へと切り替え、約1年間の日本体育協会育成推進事業の指定を経て、平成18年9月28日に「しおやユリピースポーツクラブ」が誕生しました。

2 種目の選択肢が増えるという利点を生かす

塩谷町は栃木県中央部の北側に位置し、約160km²ある面積のうち約60%が山林原野、人口は約2,300人(平成26年10月時点)という県内で一番人口が少ない町です。

近年の人口減少に伴い小・中学校の統合が相次ぎ、その度に、通学が不便になる児童が増えていきました。町ではスクールバスを用意して対応しましたが、運行時間が決まっており、中学校部活動の時間が取れなくなってしまうといった新たな問題も生まれていました。

そんな中、学校側から相談を受けていたクラブの現理事長である大島勝栄氏が発した「総合型クラブで活動すればいい」の一言が、学校部活動とクラブの連携の足がかりとなったのです。以降、当時の校長が体育指導委員を経験していたことも功を奏し、とんとん拍子に話がまとまりました。

実際には、学校部活動は18時で終了し、生徒は18時半までの間に軽食などを摂りながら休憩。その後、18時半～20時半までの2時間、クラブの活動内で練習をして、親御さんのお迎えにより帰宅するという活動を行っています。十分な活動時間を取れるため、生徒たちも存分に各種目を楽しむことができます。また、指導者については、部活動の顧問の先生にクラブに会員登録していただき、教員としてだけではなく「地域の指導者」として関わっていただいています。

さらに、クラブとの連携により学校部活動にはない剣道、柔道、器械体操といった種目を選べるようになり、児童・生徒たちの選択肢の幅が広がるという利点も生まれました。クラブにしかない種目を小学生のときから始めた児童・生徒の中には、中学校へ進学後も競技を続け、学校教員による引率のもと大会へ出場している方もいます。人口の少ない町だからこそ、地域が抱える問題を解決するためクラブと学校が助け合い、自然と連携の道を行ってきたクラブなのだと思います。



クラブで開催する小・中合同のバスケットボール活動(左)や卓球活動(右)の様子

3 今後の展望

クラブでは、平成21年度から平成25年度までtoto助成金事業である「自立支援・クラブマネジャー設置支援事業」の支援を受けていました。助成金終了後は、安定した運営を見据えて、大島理事長が中心となり平成26年5月20日にNPO法人格を取得しています。

今後は、地域及び行政に対してさらにクラブの認知度を上げていくとともに、クラブが塩谷町の豊かなコミュニティの創造の中心となり、地域になくてはならないクラブになれるよう日々努力していきたいと考えています。

(栃木県クラブアドバイザー 宮本栄子)

クラブプロフィール

設立：平成18年9月28日

住所：〒329-2221 栃木県塩谷郡塩谷町玉生^{たまにゅう}681
玉生コミュニティセンター内

会員：310名(平成26年10月時点)

予算規模：300万円(平成26年度)

TEL：0287-45-0050 FAX：0287-45-0067

E-mail：yuripysportsclub@gmail.com